

<p>【技術の名称】 大和式圧縮ブレース耐震補強工法 -圧縮力のみを伝達する座屈拘束ブレース耐震補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-05号 性能証明発効日：2013年5月28日</p> <p>【取得者】 大和ハウス工業株式会社 大和小田急建設株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本工法は、既存鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造建築物に、ブレース芯材を分割することで圧縮力のみを伝達する圧縮ブレースを増設する耐震補強工法である。

圧縮ブレースは、モルタルあるいはコンクリートの充填された溝形鋼材断面（以下、鋼モルタル板と称す。）で芯材の座屈を防止したブレースである。芯材は材の中央で分割されているため、主として圧縮力のみを伝達する。芯材に2つの鋼モルタル板を被せた後、鋼モルタル板を溶接して一体化したものである。ブレース端部はリブプレートと溶接した十字形断面とする。圧縮ブレースは片流れまたはK形に配置することとし、既存躯体とはエンドプレートを介してあと施工アンカーにて接合する。

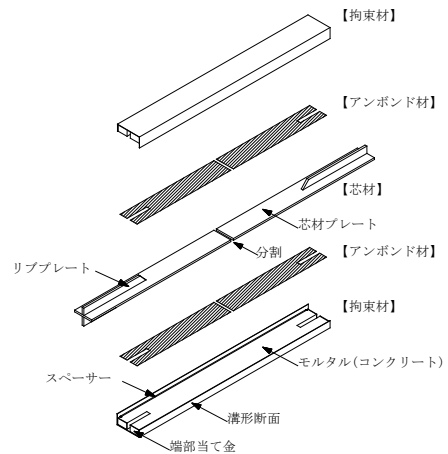


図1 部品図

【技術開発の趣旨】

従来の枠付き鉄骨ブレース補強等では、既存躯体との接合部にあと施工アンカーを多数打設することから、騒音・粉塵・振動といった問題が生じる。本工法は、補強部材に引張力を負担させないことで、既存躯体との接合部を簡素化し、従来技術における問題の改善を意図して開発されたものである。

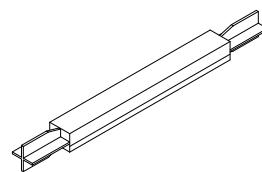


図2 全体図

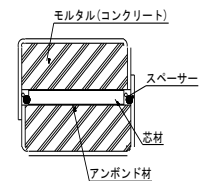
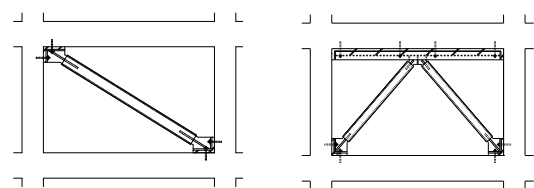


図3 断面図

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「大和式圧縮ブレース耐震補強工法設計・施工指針」に従って設計・施工された圧縮ブレースと既存骨組からなる耐震補強架構は、同指針で規定している終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標F値）を有する。



(a)片流れタイプ (b)K形タイプ

図4 補強架構例

【本技術の問合せ先】

大和ハウス工業株式会社 担当者：長濱
 〒631-0801 奈良県奈良市左京六丁目6番地2
 大和小田急建設株式会社 担当者：大庭
 〒160-8377 東京都新宿区西新宿4-32-22

E-mail：a_nagahama@daiwahouse.jp
 TEL：0742-70-2143 FAX：0742-72-3063
 E-mail：ooba-m@daiwaodakyu.co.jp
 TEL：03-3374-2672 FAX：03-3376-3127